

第2期産業振興計画安芸地域アクションプランの取り組みの総括（案）

取組の成果と今後の方向性

◎総評
 全34項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めてきた。
 その結果、目標達成に向けて克服すべき課題が残されたものもあるが、ユズの青果輸出におけるヨーロッパとの取引の定着化や、シラス加工施設の整備による新たな雇用の創出等の成果も現れてきている。
 また、観光面では、地域博覧会開催を契機として、室戸ジオパークの新たな拠点施設が整備されたほか、「廊中ふるさと館」や「芸西村伝承館」がリニューアルされるなど、東部地域の観光資源の魅力向上が図られた。
 今後とも、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取組と歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進していく。

※地域アクションプランによる雇用の創出 第2期（H24～H27） 30人
 うち産業振興推進総合支援事業費補助金関連 48人

◎各分野の取組の成果と今後の方向性

＜農業分野＞
 ユズについては、ヨーロッパ諸国に4年連続で約3t以上の青果を輸出（JA土佐あき）するとともに、加工品の販売額が約9.2億円増加（H27実績、対H21比）（JA馬路村）するなどの成果が上がっている。
 今後は、将来にわたってユズの安定した生産・出荷・販売ができるよう、新植・改植を推進するとともに、ユズ果汁等の安定供給と販路の拡大に取り組む。

＜林業分野＞
 土佐備長炭については、共同利用窯（H25:4基）の整備等により、販売額や新規就労者が増加している。
 今後は、事業主体の組織力の強化や原木の安定供給に向けた仕組みづくりに取り組み、生産拡大と後継者の育成を目指す。

＜水産業分野＞
 シラスについては、加工施設の整備（H24）により、売上額が増加したほか、新たな雇用も創出された。
 今後は、加工施設の加工処理能力の向上に対応できるよう、漁業者と加工施設との連携の強化などによる漁業生産体制の構築をしていくとともに、販路拡大などに取り組んでいく。

＜観光分野＞
 高知家・まるごと東部博の開催に伴い、新たなイベントや体験プログラムの造成及び観光拠点等の整備・磨き上げが図られる等、東部地域観光の魅力が向上した。
 今後は、同博覧会で培った安芸地域の観光のノウハウを引き継ぎ、同博覧会の成果を更に拡大させるために設立された「高知県東部観光協議会」を中心として、交流人口の拡大や地域の経済効果の拡大に取り組む。

主要な指標及び目標

項目	出発点 (2期計画策定時)	目標 (H27)	実績 (H27)
ナス(土佐鷹)の作付面積	H23: 29.1ha	H27: 80ha	H27: 18.6ha
ユズの加工仕向量	H22: 4,250t	H27: 4,670t	H27: 4,954t
園内主要施設訪問者数	H23～25平均: 2,180,000人	H27: 2,556,000人	H27: 2,401,821人
園内宿泊者数 ※県旅館ホテル生活衛生 同業組合調べ	H23～25平均: 133,000人	H27: 150,000人	H27: 138,229人

主な支援策の活用状況(H24～H27)

- 産業振興推進総合支援事業費補助金 10事業 208,957千円
- 観光拠点等整備事業費補助金等 46事業 463,065千円
- 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業） 21件、延べ58回

●ユズを中心とした中山間振興
 【室戸市、安芸市、安田町、北川村、馬路村】
ユズ <JA土佐あき、JA馬路村>

取組の内容

- 青果の生産拡大と果実品質向上のための新植・改植の推進
- 加工品を含むユズ果汁等の施設整備（JA土佐あき）(H24)
- 国内外への積極的な販路の開拓(H24～)
- 全搾汁工場で県版HACCPを取得（JA土佐あき）(H26)
- アルミ缶対応ドリンク充填ラインの整備(H26)による飲料商品の改良（JA馬路村）

主な成果

<JA土佐あき>


- 青果出荷受入量 297t(H22) → 337t(H27)
- フランス等ヨーロッパ諸国に4年連続で約3トン以上の青果を輸出

<JA馬路村>

- 加工品販売額
化粧品 1,700万円(H21) → 1.7億円(H27)
ポン酢他ユズ加工品 20億円(H21) → 27.7億円(H27)

今後の方向性

- 安定生産に向けた新植、改植の推進
- ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓



●加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上
 【安芸市】
シラス <㈱安芸水産、安芸漁協等>

取組の内容


- 最新式の設備を導入した加工施設の整備(H24)
- アドバイザー活用による商品開発
- シラスの飲食施設のオープン(H25)

主な成果

- 水揚げ金額 189,231千円(H23) → 213,019千円(H27)
- 加工施設の販売額 0円(H23) → 122,503千円(H27)
- 雇用の創出 16人(うち長期16人)

今後の方向性

- 加工処理能力の向上に対応できる漁業生産体制の構築
- 安芸漁港の活性化
- 加工品製造体制の強化、衛生管理の向上及び販路拡大



●地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化
 【芸西村】
「かっぱ市」 <芸西村、(有)かっぱ市、生産者グループ>

取組の内容


- 店内調理場を利用した加工品の製造・販売
- 新商品(黒糖みつ)の開発・販売(H26)

主な成果

- 売上額 87,000千円(H22) → 152,343千円(H27)

今後の方向性

- 品揃えの充実
- 販売体制の強化



●世界ジオパーク認証を活かした観光の振興
 【室戸市】
室戸ジオパーク <室戸市、室戸ジオパーク推進協議会等>

取組の内容


- 日本ジオパーク全国大会(室戸大会)の開催(H24)
- 室戸世界ジオパークセンターオープン(H27)
- 世界ジオパーク再認定(H27)
- ジオツアーのコース造成
- ジオガイドの養成

主な成果

- ジオガイド登録者数 20人(H22) → 53人(H27)
- ジオパーク関係施設来訪者(ドルフィンセンター含む) 53,473人(H22) → 148,970人(H27)

今後の方向性

- 拠点施設の円滑な運営と機能強化
- ガイド養成、ジオツアー等の受入態勢強化
- ジオサイトの整備



●安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～
 【安芸地域全域】
東部地域博覧会 <安芸広域市町村圏事務組合、高知県東部地域博覧会推進協議会等>

取組の内容


- 高知県東部地域博覧会(高知家・まるごと東部博)開催(H27)
- 東部博開催に伴う新たなイベントや体験プログラムの造成及び観光拠点等の整備・磨き上げ
- 観光ガイド等の人材育成
- 広報及びセールス活動の実施
- 教育旅行誘致活動の実施(H26～)及び受入民泊世帯の拡大
- 市町村や分野を超えた広域での連携が進んだことによる広域観光組織の設立(H27)

主な成果

- 東部博開催による集客増(宿泊者数を含む) 2,313,000人(H23～H25平均) → 2,540,050人(H27)
- 東部博開催による観光消費額(推計) 750,852千円
- 新たな体験プログラムの造成 15件

今後の方向性

- 県内外への情報発信等による入込客数の確保
- 体験プログラム等の磨き上げ
- マーケティングに基づく戦略づくり、地域内の連携強化・地域住民の巻き込み、人材育成



●海の駅を拠点とした地域振興
 【東洋町】
「海の駅」東洋町 <東洋町>

取組の内容


- 海の駅のオープン(H26.1月)
- フェイスブックによる情報発信
- 地域特産品を活用した飲食メニューの提供

主な成果

- 来場者数 34,280人(H26.1月～3月) → 174,122人(H27)
- 雇用の創出 11人(うち長期8人、短期3人)
- 販売額 31,115千円(H26.1月～3月) → 161,151千円(H27)

今後の方向性

- 運営体制の強化
- 地域産品を活用した加工品の確保
- 地域の観光情報の発信



●土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
 【東洋町、室戸市】
土佐備長炭 <土佐備長炭生産組合、室戸市木炭振興会>

取組の内容

- 共同窯の整備 4基増設(H25)
- 備長炭生産者の育成
- 室戸市木炭振興計画の策定(H27)

今後の方向性

- 共同利用窯の増設
- 量産体制の強化
- 人材の育成

主な成果

- 生産者の増加 4人
- 販売額 土佐備長炭生産組合 1.43億円(H22) → 1.93億円(H26)
室戸市木炭振興会 6,400万円(H22) → 1.29億円(H26)



●キラメッセ室戸「楽市」の機能強化
 【室戸市】
キラメッセ室戸 <室戸市>

取組の内容


- 加工施設の整備(H27.8月)
- 新たな加工品の開発
- 県外の店舗・アンテナショップへ野菜等を出荷

今後の方向性

- 農業の6次産業化の推進
- 販路拡大と集荷体制の整備

主な成果

- 来場者数 244,968人(H23) → 246,958人(H27)
- 販売額 256,650千円(H23) → 342,172千円(H27)



安芸地域アクションプランで設定した
数値目標等に対する評価



重点的な対応が必要と思われるものについては、市町村や関係団体等との密接な連携のもと、課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む。

(主なもの)

項目	見つかった課題・方向性	今後の展開
安芸地域の観光振興の推進	高知県東部地域博覧会の開催により、新たなイベントや体験プログラム等の造成、観光素材の磨き上げが行われるとともに、東部博の広報PR、セールス活動により、東部地域の観光素材が広く認知され、圏内主要施設の訪問者数や宿泊者数は増加したが、受入客数の増加を目標に掲げ、受入体制の強化や魅力向上に取り組んできた体験型観光は、一部において受入客数が減少(魚梁瀬森林鉄道遺産 H22: 1,171人→H27: 784人、奈半利の町並みガイド H24: 390人→H27: 301人)。引き続き、東部地域への誘客を促進し、経済波及効果をさらに大きなものにするためには、「東部博」で得た経験やノウハウなどを活かして、観光資源の磨き上げや広域連携をさらに強化することが必要。	◎(一社)高知県東部観光協議会を中心に、行政、地域の団体などが連携して、交流人口の拡大や地域の経済効果の拡大に向けて取り組みを推進する。 ・観光施設等のブラッシュアップや広域的な連携 ・土佐の観光創生塾等による人材育成 ・教育旅行における民泊登録世帯の掘り起こし ・旅行会社等へのセールス活動、パンフレット、SNS等による情報発信の充実・強化
土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	土佐備長炭が地域に雇用の創出や所得の向上をもたらす基幹産業としてさらに発展していくためには、原木供給体制の強化や、持続可能な生産・販売体制の構築が必要	◎地域の基幹産業となることを目指して、生産者や行政が一丸となって原木生産から販売までの取り組みを推進する。 ・原木生産から販売までの中期計画の策定 ・伐り手の育成等の原木供給体制の強化 ・生産者の育成と施設整備
地域食材を生かした商品作りと販路の拡大	東部地域には商品の販売額が少額な事業者が多いため、さらなる成長への挑戦を促していくことが必要	◎意欲的な事業者を発掘し、その挑戦を後押しする。 ・加工施設の整備 ・地域食材を生かした商品開発や付加価値向上 ・生産・販売事業者の育成 ・販路開拓 ・6次産業化の推進

・達成状況を客観的に評価できる目標について、以下により4段階評価を実施
(目標の設定がないものや客観的に評価できない定性的な目標については、「—」としている)

区分	評価基準	件数
A+	・数値目標を達成したもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が100%以上 ・数値目標ではないが客観的に評価ができる目標を達成した(または達成する見込みがある)もの	15件
A	第2期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できたもの、または状況を改善できたもの ・数値目標をほぼ達成したもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%以上100%未満	4件
A-	・数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの → 数値目標の達成率(または達成見込率)が60%未満	15件
B	第2期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの、または状況を改善できなかったもの	15件
—	目標の設定がないものや、客観的に評価できない定性的な目標を設定したもの	10件
計		59件

※1つのアクションプランで複数の数値目標等を設定したものもあるため、上記の件数とアクションプランの数とは一致しない